



2026年4月30日

## 「血液がん患者の妊孕性温存」アンケート結果の報告

2026年4月22日(水)に開催いたしました表題セミナーのアンケート結果をご報告申し上げます。当日はオンラインで99名の皆様にご参加いただき、64名の方から回答を頂きました。頂きましたコメントは、数が多いため重複する内容をまとめたり、一部抜粋したりして紹介しています。たくさんのご意見を頂きましたことに感謝申し上げます。

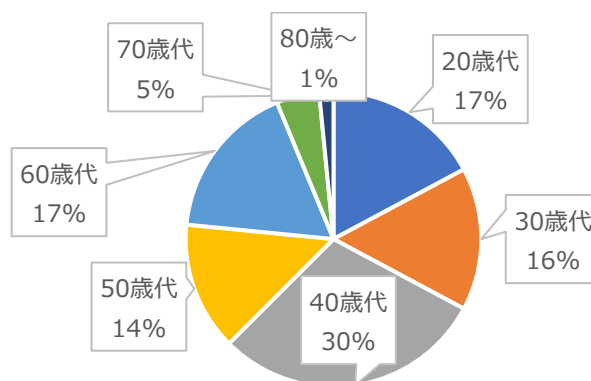
### 1. お住いの都道府県を教えてください (n=64)

東京都	11名	神奈川県	4名	兵庫県	3名	茨城県	1名	滋賀県	1名
大阪府	5名	栃木県	4名	京都府	2名	沖縄県	1名	長崎県	1名
愛知県	4名	北海道	4名	広島県	2名	岐阜県	1名	長野県	1名
群馬県	4名	宮城県	3名	福岡県	1名	佐賀県	1名	福島県	1名
埼玉県	4名	千葉県	3名	愛媛県	1名	山口県	1名		

※参加者のいない都道府県は省略しています。

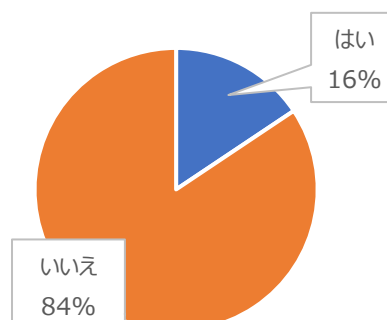
### 2. 年代を教えてください (n=64)

20歳代	11名
30歳代	10名
40歳代	19名
50歳代	9名
60歳代	11名
70歳代	3名
80歳～	1名

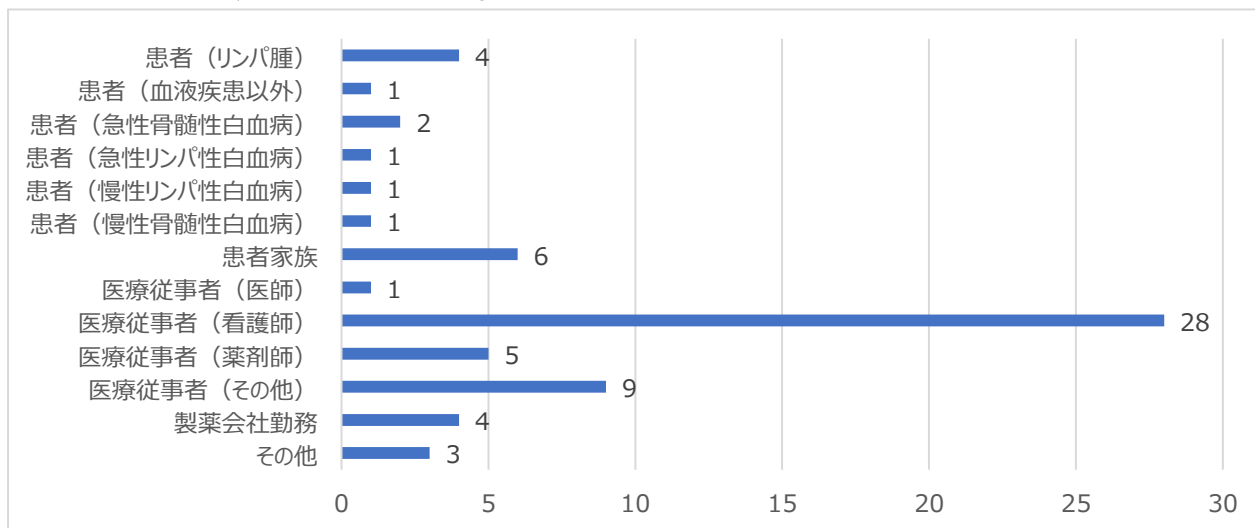


### 3. AYA世代のがん患者（15歳～39歳に発症）に該当しますか？ (n=64)

はい	10名
いいえ	54名



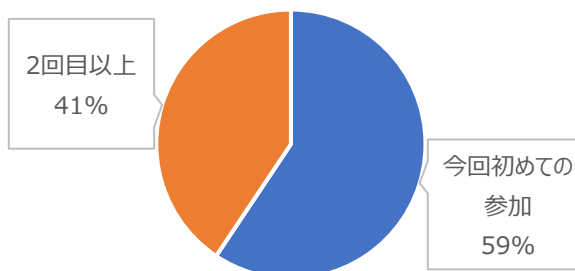
#### 4. お立場を教えてください (n=64) ※重複回答有り



その他のお立場：HCTC（造血細胞移植コーディネーター）、MSW（医療ソーシャルワーカー）  
 がん生殖医療専門心理士、公認心理師、がん相談員・看護師資格あり（企業）  
 ピアサポーター、心理士、医学生

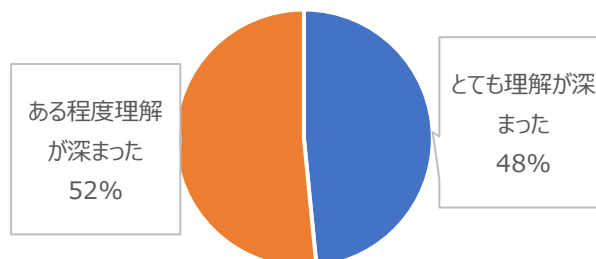
#### 5. 血液がん知っとかナイトへの参加は何回目ですか。 (n=64)

今回初めての参加	38名
2回目以上	26名



#### 6. 今回のテーマ「血液がん患者の妊孕性温存」に関する理解度を教えてください (n=64)

とても理解が深まった	31名
ある程度理解が深まった	33名
どちらとも言えない	0名
どちらかという理解できなかった	0名
まったく理解できなかった	0名



#### 7. 上記で回答した理由を教えてください

##### 【とても理解が深まったと回答した理由】

- ・妊孕性という言葉も知らなかった私にとって、豊富な内容を御教授戴きました。
- ・TBIの時の卵巣遮断併用を知った事。治療経過の中での妊孕性温存のタイミングなども知ることができたエビデンスを含めわかりやすく解説いただき、大変勉強になりました。

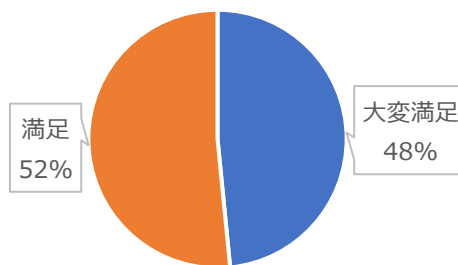
- ・がんが治った後の人生も大切なので、子どもが欲しいと思ったら叶えてあげたい。
- ・スライドが分かりやすく、話すスピードもとても聞きやすかったです。
- ・血液内科外来看護師なので
- ・講演が素晴らしかった。
- ・初潮前かその後かで妊孕性保護のやり方が変わってきたり、治療時の年齢やリスク群によってやるかやらないかが変わってくるのは聞いていてわかりやすかったです。
- ・全国調査、長期調査、研究、どれをとってもありがたい情報ばかりでした。
- ・対策が必要だということがよくわかりました
- ・妊孕をほどこしても出産に至る確率は高くなく 出産を望む 患者 パートナーの心中を思う気付きをいただいた
- ・聞いたことがない用語もありましたが、丁寧に説明していただけて理解できました。
- ・卵子保存や精子保存の基金で患者支援をしているが、詳しくはわかっていなかったもので、一通り勉強できて良かった

### 【ある程度理解が深まったと回答した理由】

- ・ピアサポーターの一般知識として聴講させていただきました。
- ・一度では理解が難しい。なので、YouTube で再度確認したい。
- ・簡単に考えていたが、時期など実情を聞いて深まった
- ・血液内科系疾患を勉強したばかりで少し今の自分には難しい内容となった。
- ・疾患や薬剤によっても違うことや、治療前や化学療法の間、見解時期など、妊孕性温存を考えるチャンスがあることがよくわかりました。
- ・先生のお話や進行の方の的確な質問のおかげで、理解を深めることができました。ただ、薬剤師 1 年目ということもあり、略語を脳内で変換する間に説明が進んでしまうこともありました。これを機会に、血液がんに関して知識をつけるため、自己研鑽に励みたいと思います。貴重な機会をありがとうございました。
- ・専門的な用語が多く非常に情報量も多かったため、先生が話を進めてくださっている速度に対して自分自身の理解が追い付かない部分がありました。
- ・馴染みのない用語や治療法もわかりやすく説明もされていたので理解できました。移動中に途切れてしまった部分があったのでそれだけが残念です。
- ・難しかった
- ・妊孕性温存がテーマの講義参加が始めてであり、初めて知ることも多く、また血液腫瘍の治療自体の知識不足もあり視聴中に理解しきれない部分もあったため。とはいえ新たな知識のインプット、治療内容や病状に応じた妊孕性温存のしかたについてかなり詳しく学べたのでとても有意義な企画でした。アーカイブを視聴して事後学習させていただきます。
- ・妊孕性治療のタイミング等 詳しいことを知ることができたから
- ・聞いたことがない分野だったので学びになった

## 8. 知っとかナイト「血液がん患者の妊孕性温存」に参加して、最も当てはまるものを選択してください (n=64)

大変満足	31名
満足	33名
どちらとも言えない	0名
どちらかという不満	0名
不満	0名



## 9. 上記で回答した理由を教えてください

### 【大変満足と回答した理由】

- ・ 蘆澤先生の誠実な御人柄を拝察できました。
- ・ 5分前にギリギリの申込でしたが、一番受けてみたいセミナーだったので、今日参加出来てよかった。
- ・ お忙しい中、患者さんの治療だけでも大変なのに、研究もされていて素晴らしいと思った。
- ・ やはりライブのQAがよい。患者さんの気がかりについて知れる機会です
- ・ わかりやすい先生の講義とデータ。患者さんの質問も、日頃スタッフに聞きたくても言えない声のような気がして、質問そのものと先生の回答どちらも知ることができて良かったです。
- ・ 維持療法は終わっていますが、妊孕性について主治医の先生になかなか相談できずにいました。自分の年齢や治療法で、妊孕性の可能性があるのか。また、いつ頃から妊娠可能なのか。そして、どんなリスクがあるのかなど、知ることができてとても勉強になりました。自分の主治医の先生に相談する心の整理ができたと感じています。貴重なお話をありがとうございました。
- ・ 患者さんのリアルな実態に基づく切実なご質問に切り込んでいただいたから
- ・ 現在まさに TKI からスミフェロンに切り替えて、凍結していた胚を移植する段階まで来たので、とてもタイムリーで興味深い内容だったため。
- ・ 今後出会う患者さんにも該当する可能性があるので知識の幅を広げることができた
- ・ 質問に対してわかりやすく丁寧に話をしてくださり、とてもありがたかったです。
- ・ 専門性のある内容だった。ここまでの情報はなかなか他で得られない。
- ・ 大げさに聞こえるかもしれませんが、「悲しい思いをしたことはムダではなかった」「あのとき死なずにこの時代を見ることができてよかった」と心から思えました。蘆澤先生のご研究と患者さんに対する優しいまなざしに感謝しかありません。本当にありがとうございました。

### 【満足と回答した理由】

- ・ ここまで来たかということがよくわかりました。
- ・ 血液疾患の略語が難しいところもありましたが、研究結果が示されており自分でも調べてみようと思いました。講演の中にもありましたが、治療とともに考えていくことが大切ですね。ありがとうございました。
- ・ 血液内科 産婦人科の連携の実際についても触れていただけたらより安心
- ・ 高齢の患者さんが多いので正直あまり興味なかったのですが、講義に参加して治療の選択肢が増えていることに驚き、とても勉強になりました。今後、知識として持っていきたいです。

- ・最後まで参加できなかったのが心残りでした。すみません！
- ・時間がもう少し短いと良い
- ・充実した内容で、患者にとって気になっている情報が一度に多く得られる大変にありがたい機会になったと感じる反面、時々専門的な内容が入っていたため理解しづらい部分もありました。しかし、先生がおっしゃった「患者の命を守ること」と「子供をもつ為の機能を温存すること」はどちらも追い求めてもよいのだ、といった内容は、私の主治医からは聞くことのできなかつた言葉であり、大変感銘を受けました。決してどちらかを優先することがもう一方をないがしろにするものではない、という考え方は、自分が妊孕性について考える際には、これからも大切にしたいと、強く、思っています。
- ・知識が深まった
- ・妊孕性治療のタイミング等 詳しいことを知ることができたから

## 10. 今後取り上げてほしい血液がんに関するテーマがあれば教えてください

- ・悪性リンパ腫
- ・AYA 世代の急性白血病
- ・CAR-T 療法
- ・LTFU 外来のことや移植後のがん発生の現状など
- ・MDS（骨髄異形成症候群）
- ・リンパ腫の同種移植について
- ・化学療法のレジメンごとに多く見られる副作用、具体例など
- ・血液がんの治療継続につながる感染リスク低減の対策方法など
- ・骨髄異形成症候群の治療、血液腫瘍・その治療に対するイメージと実際のギャップ（いいものわるいもの含めて）と患者説明のポイント
- ・骨髄異形成症候群
- ・再発と後遺症と晩期合併症に怯える人は多いので、その対策について
- ・治療の選択について。治療と運動について。AYA 世代の治療について。
- ・多発性骨髄腫について
- ・長期的な再発リスクを抑える生活について
- ・DLBCL 中枢神経系浸潤の治療法について

## 11. 運営やその他についてのご意見や感想があればお寄せください

- ・アーカイブ配信を待っています。
- ・わかりやすいウェビナーをありがとうございました！
- ・休憩時間が5分なのが良かった。
- ・古賀さん、気持ちのいい司会でした。ありがとうございました。
- ・今回の血液がん知っとかナイト参加に際して、近くで音声を聞いていた家族と、妊孕性について改めて話し合うよい機会を持つことができ、大変うれしく思っています。まずはお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。また、家族と議論するうちに、妊孕性温存について考える際、同時に代理出産や卵子や精子の提供を受けること、そして特別養子縁組や里親制度についても、選択肢を拡げて考えることのできる

患者さんがもっと増えるとよいと感じました。必ずしも自分やパートナーの方の遺伝子をもった子供を持たなければならないのか？という観点は、がん患者とその家族の将来設計において非常に有益な視点、視野の拡がりかと感じました。少し本筋とはズれてしまいますが、視野を拡げて考えれば、パートナーとの子供を持つことが困難な同性愛者の方たちは、前述のような制度を利用し子供をもうけて、幸せに暮らしている方々が多くいるという点も、こだわりを捨て去る際に少し頭の隅に入れておくと気持ちが少し楽になるのでは、という感想を持ちました。改めて、このような機会をつくっていただき、有意義な時間を過ごせたこと、感謝しております。ありがとうございました。

- ・ 今後も患者さんに寄り添う活動、頑張ってください！本日はありがとうございました。
- ・ 最後に里親などについてのお話がありましたが、何かの形で教えていただけると嬉しいです。
- ・ 司会進行がスムーズでとても快適に視聴できました。ありがとうございます。
- ・ 質疑応答のコーナーは、実際に患者さんが率直に感じた質問でためになります。
- ・ 豊富な内容に感謝申し上げます。
- ・ 蘆澤先生のお話がとてもわかりやすく良かったです。うちの娘の主治医だったら良かったと感じました。